

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392200206
事業所名	グループホーム真清田

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナ禍の自粛は続いており、最低限の交流に留まっている。屋外イベントや人込みを避けた外出等を工夫し、交流機会を作っている。散歩時には出会った地域の方と挨拶を交わし、交流している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	この1年は、6回全てをホーム内関係者のみで会議を開催し、ホームの運営報告を基に議事録を作成し、外部メンバーに配布して報告している。R5年度は、コロナ禍の感染状況を見ながら、通常開催に切り替えて行く予定がある。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市の担当部署とは、ホーム運営の相談・報告を通じ、助言や指導を仰ぎながら適切にホーム運営に反映させている。来期からの運営推進会議通常開催についても相談し、会議開催の予定を立てている。地域包括支援センターとは、以前から良好な協力関係にあり、相互に相談し合う連携がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	利用者家族とは良好な関係構築があり、双方の信頼の中で話し合っている。面会時、来訪時、電話連絡時等、直接の聞き取りを行い、忌憚のない意見や提案を聴取している。内容は職員間で協議し、運営や支援内容に反映させている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍で、この1年の運営推進会議は、6回全てをホーム関係者のみで会議を実施し、議事録を外部メンバーに配布して報告を行った。
--

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								